

# JA南彩は 生産者の様々な課題解決に取り組んでいます！

## 生産者支援



山本さんは実家が農家だったため農業を始めて、それから40年以上農業を続けている大ベテランです。

就農した当時は水稻やトマトなどの作付けが主でしたが、トマトを栽培していたパイプハウスが降雪でつぶされてしまった際に、どうせハウ



スを立て直すなら違う品目にもチャレンジしてみようと鉄骨ハウスを建て、葉物の生産を始めました。

現在では葉物の作付けを始めてからはハウスで春菊やほうれん草などの葉物と水稻を中心に作付けしています。

そんな山本さんから「毎年猛暑の中での作業は大変だ」との相談を受けました。

そこで「ドローンを利用して作業の負担を減らしてはどうですか？」と提案したところ、いくつになってもチャレンジだ！！と話し仲間たちと共にドローンの免許を取得し、JAの農機センターからドローンを購入して、今年の水稲作付けから追肥や農薬の散布などをドローンで行う予定となりました。

「新しい技術を取り入れることで自身の負担を減らすとともに、若い人たちに新しいことを教えられるよう見本になるような農業を展開したい」と話してくれました。

### JAの想い

今回の取り組みを通じて、JAが生産者の皆さまとともに新たな技術導入の

一歩を踏み出せたことを、大変うれしく思います。

今後もJAは、生産者の皆さまが抱

える課題に寄り添い、経済・信用・共済の各事業が連携して、持続可能な農業の実現に貢献してまいります。

地域農業を支えるパートナーとして、生産者の皆さまとともに、これからも挑戦を続けていきます。